

会議録

会議の名称	第1回 西東京市第2次産業振興マスタープラン策定委員会
開催日時	令和4年8月29日（月曜日）午後3時から5時まで
開催場所	田無第二庁舎4階会議室2・3
出席者	委員：飯島享委員 小野寺崇委員 木崎英司委員 桐木美里委員 指田泰弘委員 松川紀代美委員 村田秀夫委員 村山浩宜委員 本橋正明委員 事務局：池澤隆史市長 下田立人生活文化スポーツ部長 後藤幸男産業振興課長 山田公一産業振興課長補佐 遠藤集徳産業振興課主事 コンサルタント：梵まちつくり研究所 吉田道郎 黒丸結奈
議題	議題1 委員会の運営方法について 議題2 西東京市を取り巻く社会経済状況について 議題3 第2次産業振興マスタープラン策定の概要について 議題4 産業振興マスタープラン後期計画の着手状況について 議題5 第2次産業振興マスタープラン策定のスケジュールについて 議題6 アンケート調査の実施概要について
会議資料の名称	次第 資料1 西東京市第2次産業振興マスタープラン策定委員会設置要綱 資料2 西東京市第2次産業振興マスタープラン策定委員会 委員名簿 資料3 西東京市市民参加手続について 資料4 西東京市第2次産業振興マスタープラン策定委員会傍聴要領 資料5 西東京市を取り巻く社会経済状況について 資料6 西東京市第2次産業振興マスタープラン 策定概要 資料7 西東京市産業振興マスタープラン後期計画の実行プログラム年次計画及び着手状況 資料8 西東京市第2次産業振興マスタープラン 策定スケジュール 資料9 アンケート調査の実施概要案 西東京市産業振興マスタープラン後期計画－概要版－（冊子）
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>1 開会</p> <p>○事務局： 定足数に達しているため、第1回西東京市第2次産業振興マスタープラン策定委員会を開会する。会長及び副会長が確定するまでの間、事務局にて会議を進行させていただく。 開会にあたり、生活文化スポーツ部長よりご挨拶させていただく。</p> <p>○生活文化スポーツ部長： 《挨拶》</p> <p>2 委嘱状交付</p> <p>《市長より交付及び挨拶》</p> <p>○市長： いよいよ第2次産業振興マスタープランの策定がスタートする。ぜひお力添えをいただきたい。新型コロナウイルス感染症も3年目になり、市民の皆さんの生活様式も変化</p>	

している。市では市内での消費を促すため、キャッシュレス化の推進やプレミアム応援券事業を実施するとともに、事業者支援として物価高騰への対策を講じる等、様々な取組を進めている。

新たな生活様式での産業振興について、ぜひご検討をいただきたい。また、同時並行で市の最上位計画である総合計画の策定が進んでおり、ブランディングの問題や市内外への発信について多くの意見をいただいている。

前回の計画策定時から社会状況も大きく変わっており、改めてこれからの西東京市の産業振興についてご検討いただきたい。

3 委員自己紹介

《省略》

4 事務局紹介

《事務局職員・コンサルタント紹介》

5 会長及び副会長の互選

《会長及び副会長の決定》

6 西東京市第2次産業振興マスタープラン策定の依頼について

《市長より依頼文書を会長へ手交》

7 議題

議題（1）委員会の運営方法について

○会長：

議題（1）委員会の運営方法について、いくつか定める事項がある。事務局より説明を求める。

○事務局：《資料3、資料4に沿って説明》

《本委員会における会議を公開することについて 異議なし》

《会議録を発言者の発言内容ごとの要点記録とすることについて 異議なし》

《公開する会議録において発言者名を伏せることについて 承認》

《傍聴者確認 傍聴者なし》

議題（2）西東京市を取り巻く社会経済状況について

○事務局：《資料5に沿って説明》

○会長：

ただ今の説明内容について、質問を求める。

《質問なし》

議題（３）第２次産業振興マスタープラン策定の概要について

議題（４）産業振興マスタープラン後期計画の着手状況について

○事務局：《資料６、資料７に沿って説明》

○会長：

ただ今の説明内容に関連して、各委員の立場から報告をいただきたい。

○委員：

商工会事務局長を務めているが、商工会にはコロナ関連の相談が増えている。これまでは地域振興に関わるものが多かったが、いまは「個」への支援が求められている。

商工会としては地域を盛り上げていきたいが、自粛によってイベント等の開催ができていない。今後はどういった支援をしていけばいいのか、考えていく必要がある。また、今後は経済を動かすためにも、雇用の維持や人材確保が課題となってくる。

○委員：

農業委員会では、都市農地の保全を大きな課題として捉えている。毎月申請があり年２～３ha減少している状況である。農地の減少は相続税の問題とも絡んでおり、どう歯止めをかければよいのかが悩ましい。

現在、都市計画マスタープランの策定において農地保全の専門部会が立ち上げられている。庁内各課が関わって検討していくべき課題である。

農地は所有者だけのものではなく、地域社会の財産であり、受益者は地域住民であることを踏まえ、農地の重要性を盛り込んでいきたい。

○委員：

後期計画の指標の中に農地面積があるが、目標値を見ると年３.５haしか減らない計算になっている。相続税を支払うために農地を売る現状があり、農地をいかに存続させていくかが課題である。

相続税の支払い対策として、融資の活用も進めており、農地保全に努めていきたい。

○委員：

西東京市の計画策定には初めての参加である。研究室には４０名のゼミ生がおり、協力も出来るので、若い視点で力になればと思う。

○委員：

一つ課題を挙げるとDX化の問題がある。市の応援券も電子化されているが、商店からすると手続の煩雑化により参加しづらいという店舗もある。また、キャッシュレス決済は高齢者の方の対応が必要であるし、需要が伸びているデリバリーについても、商店への来客頻度が減るといった課題がある。我々が想定しているより早いスピードで社会が変化していることを踏まえて、第２次の計画を考えていく必要がある。

○委員：

各地の商店街を巡回し、支援を行っている。ただ、色々な提案をしても、組織として簡単に動けないといった現状もあり、いかに動くかまで持っていけるかがポイントだと考えている。

○委員：

西東京市は創業に力を入れているとの説明があったとおり、これまで他の地域でも創業支援の手伝いをしてきたが、西東京市は創業の相談が多いと実感している。創業支援と創業後の事業継続支援として長期目線が必要である。

○委員：

ハンサムママプロジェクトに1年前から関わっている。子育てから手が離れた時に何かしたい、キャリアを築きたいと考えるママは多いが、ノウハウを持っているわけではなく、ハンサムママプロジェクトは有難かった。

長く住んでいるが、西東京市はとても住みやすい町だと思う。子育てに良い町としてもっとブランディングしてアピールしていくと良い。また、子育てママは、子どもに体験をさせてあげたいと思っており、先日開催した商店街のお祭りやイベントなどを通して、地域とのふれあいや体験を望んでいる。

○委員：

コロナ禍において中小事業者は大変な状況にある。人材不足や高齢化によって廃業を選択する事業者も多い。貴重な技術を次に伝える手段が、これからの課題だと考えている。

議題（5）第2次産業振興マスタープラン策定のスケジュールについて

○事務局：《資料8に沿って説明》

○会長：

ただ今の説明内容について、質問を求める。

○委員：

令和5年度の委員会開催予定が示されているが、総合計画策定との連携が必要であり、固定しておかない方がよいのではないかと。

○事務局：

総合計画の策定状況を踏まえ、適宜、調整していきたい。

○会長：

柔軟な対応をお願いしたい。

議題（6）アンケート調査の実施概要について

○事務局：《資料9に沿って説明》

○会長：

ただ今の説明内容について、質問を求める。

○委員：

事業者アンケートにおける事業者抽出についてだが、商店街に加入していない事業者

に対して、商店街に加入しない理由を問うなど、商店街に加入していない事業者にアプローチする方法を検討いただきたい。

○事務局：

対象者の抽出方法については、引き続き検討していく。

○委員：

アンケートの実施について、インターネットの活用はあるのか。また、回収率はどの程度を想定しているのか。

○事務局：

800通程度の回答を想定している。インターネットを活用すると回収率が上がることはわかっているが、紙ベースの回答との重複も考えられるため、慎重な対応が必要であると考えている。今後、検討していく。

○委員：

消費者アンケートについては、消費行動の市外への流出についても聞いてはどうか。

○事務局：

検討する。次回委員会にて、具体的な調査票でお示しする。

8 その他

○事務局：

《会議録案を各委員に確認いただく》

《次回委員会は10月中旬以降を予定》